様式第２号（第８関係）

自 主 検 証 実 施 結 果 報 告 書

〇〇年〇〇月〇〇日

（宛先）　〇〇消防署長

報告者（電話　４９３－４１４１　番）

住　所　富山市今泉１９１

氏　名　株式会社富山
代表取締役　富山　一郎

次のとおり検証を実施いたしましたので報告します。

所　在　地	富山市今泉１１９－１		
名　　称	特別養護老人ホーム　富山消防	用　途	特別養護老人ホーム
検　証　日　時	〇年　〇月　〇日（〇）　午前・後　１０時　３０分から		
検証実施責任者 職　・　氏名	防火管理者　富山　四郎		
火災想定場所	１階　リネン室		
防火管理体制	勤務体制（夜間）	勤務者　〇人 （内訳　男性　〇人、女性　〇人）	
	火災確認者が待機している場所	１階　仮眠室	
検証訓練参加者	従業員　〇人　従業員以外　〇人　合計　〇人		

※受　付　欄	※経　過　欄

備考　１　報告者が法人である場合は、その名称及び代表者氏名を記入すること。
２　夜間の宿泊又は収容施設を有する場合は、夜間の防火管理体制を記入すること。
３　この報告書は、自主検証実施後７日以内に提出すること。
４　※印の欄は、記入しないこと。

測　定　項　目	計　時　測　定　の　時　点	時　間
火災現場確認	自動火災報知設備が発報した時点から、火災現場に行き、出火室入口のドアを開けて火災を確認し「火事だー！」と２回叫んだ時点まで。	○分○秒
１１９番通報	自動火災報知設備が発報した時点から、１１９番通報を終えて受話器を置いた時点（非常通報装置の場合は、押しボタンを押す動作）まで。	○分○秒
館　内　連　絡	自動火災報知設備が発報した時点から、非常放送（非常放送設備がない場合は、肉声等で全館に連絡）で避難の指示（３回繰り返す）が終了した時点まで。	○分○秒
初　期　消　火	自動火災報知設備が発報した時点から、消火器（１５秒間保持）又は屋内消火栓（３０秒間保持）の操作が終了した時点まで。 〔使用した設備：　消火器・屋内消火栓　〕	○分○秒
火災階・出火区画の避難誘導	自動火災報知設備が発報した時点から、火災階等の避難誘導が終了した時点まで。	○分○秒
非火災階・隣接区画の避難誘導	自動火災報知設備が発報した時点から、非火災階等の避難誘導が終了した時点まで。	○分○秒
上階・竪穴隣接区画の避難誘導 （旅館・ホテル等は対象外）	自動火災報知設備が発報した時点から、上階隣接区画等の避難誘導が終了した時点まで。 （注：６項イ・６項ロでスプリンクラー設備がある場合は対象外）	○分○秒
対　応　行　動	マニュアルで定めた行動を行ったか	良（○）・否

※ 限界時間	火災階・出火区画	分	適合・不適合	ランク	
	非火災階・隣接区画	分	適合・不適合		
	上階・竪穴隣接区画	分	適合・不適合		